

## 7 静岡市議会議員選挙について

1	市議会議員選挙の認知度	141
1-1	市議会議員選挙が行われたことを何で知ったか	142
2	市議会議員選挙に関心があったか	145
3	市議会議員選挙での投票の有無	146
3-1	投票する候補者を決めるのに役立ったもの	147
3-2	投票しなかった理由	150
4	普段選挙で投票しているか	153
5	選挙の投票についての考え方	154
6	投票参加を呼び掛ける方法として、効果的と思うもの	156
7	新型コロナウイルス感染症による選挙行動の変化	159
8	投票率向上に効果的だと思うもの	161

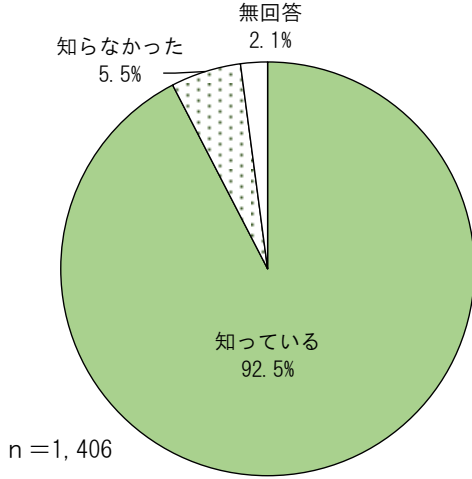


## 7 静岡市議会議員選挙について

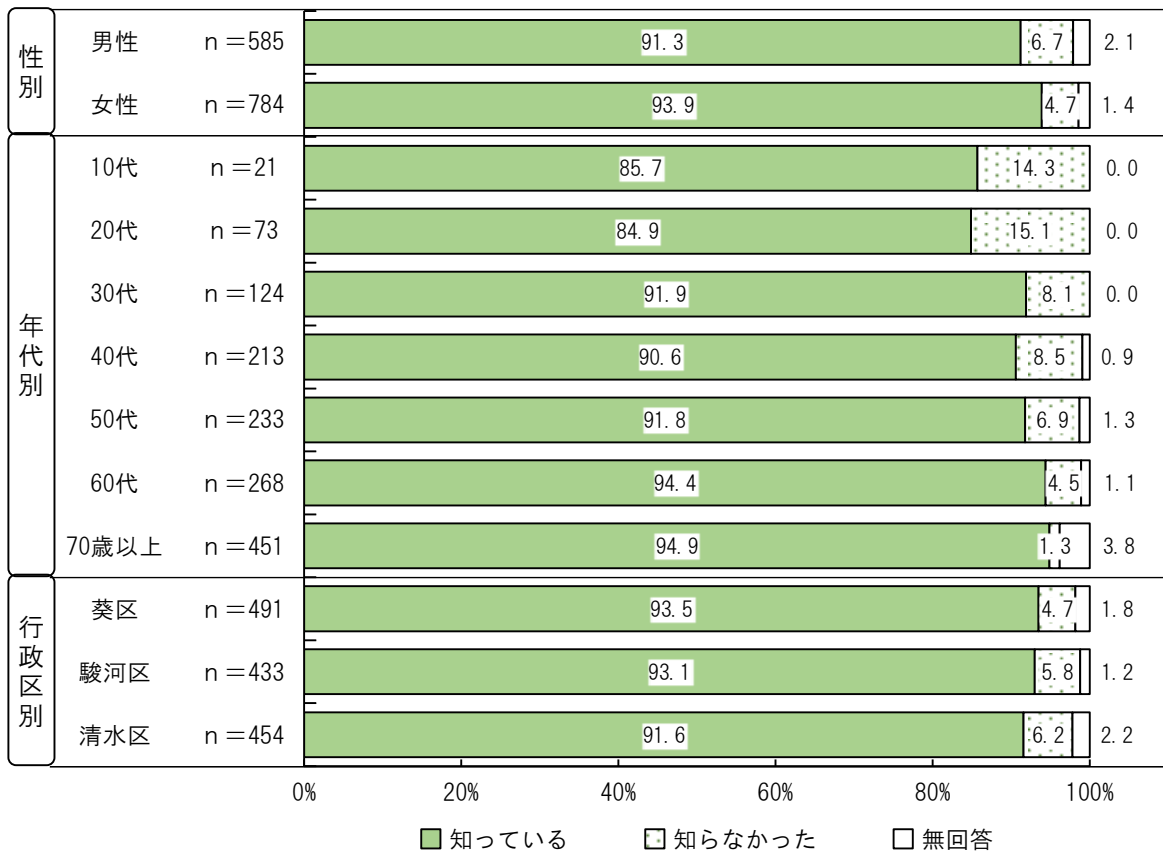
問1 あなたは市議会議員選挙が行われたことを知っていますか。(○は1つ)

◎POINT◎

市議会議員選挙の認知度は、「知っている」が92.5%、「知らなかった」が5.5%となっている。



- ◆性別・行政区別でみると、大きな差異はみられない。
- ◆年代別でみると、10代・20代において「知らなかった」が1割を超えて多くなっている。

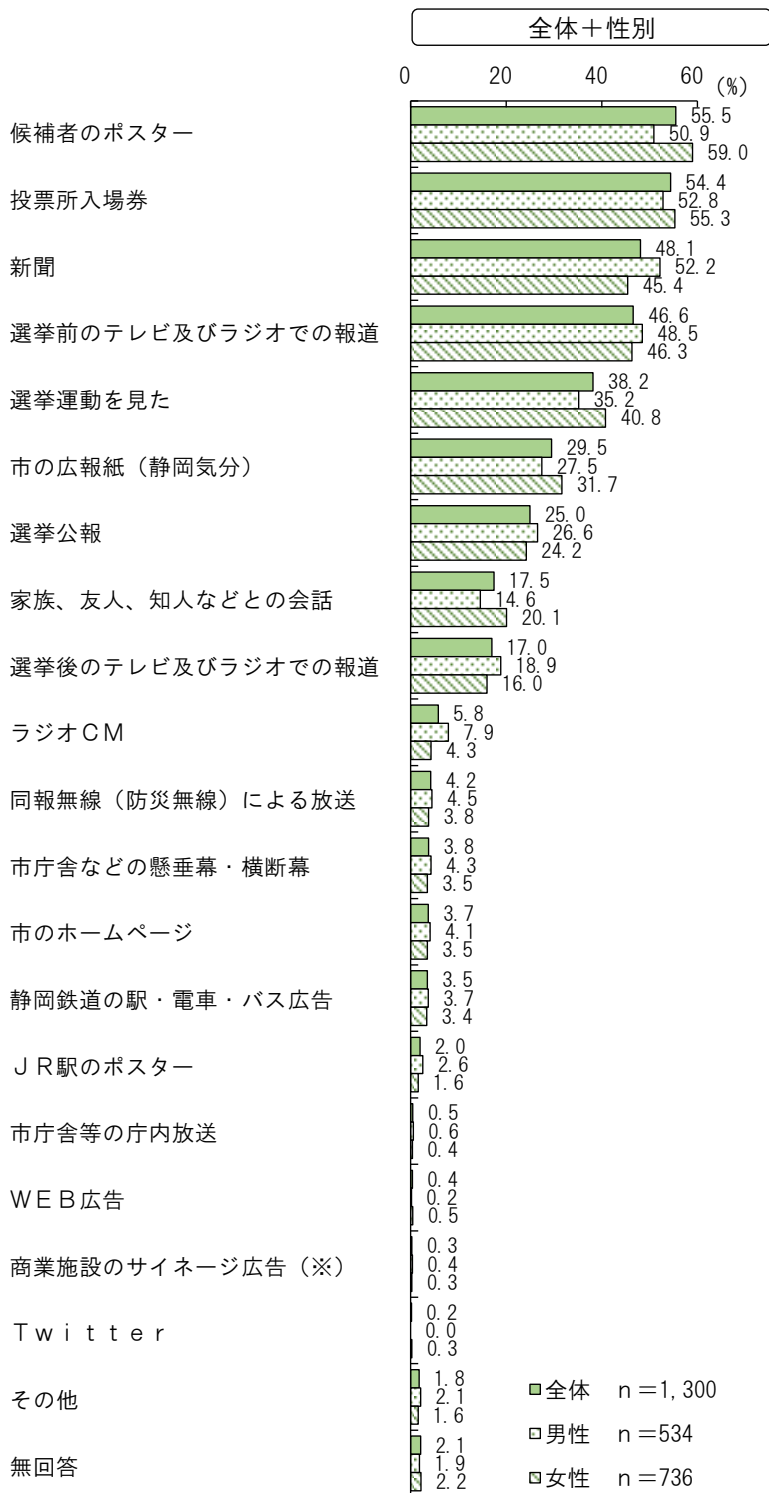


【問1で「知っている」と回答した方のみ】

問1-1 あなたは、令和3年3月28日に市議会議員選挙が行われたことを何で知りましたか。  
(〇はいくつでも)

◎POINT◎

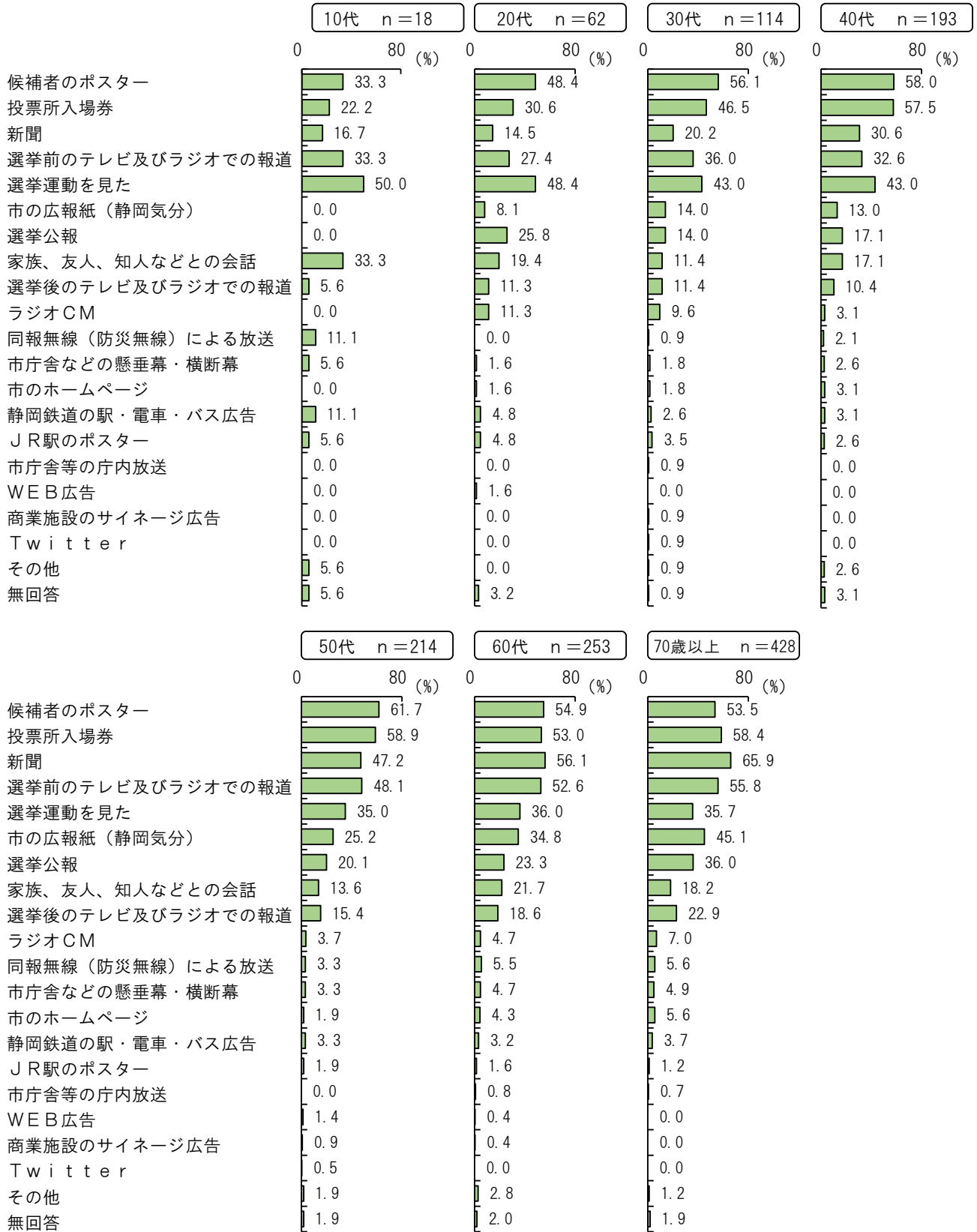
市議会議員選挙が行われたことを知ったところは、「候補者のポスター」が55.5%と最も多く、次いで「投票所入場券」が54.4%、「新聞」が48.1%などとなっている。



※サイネージ広告：ディスプレイやプロジェクタなどの電子的な表示機器で情報を発信する広告

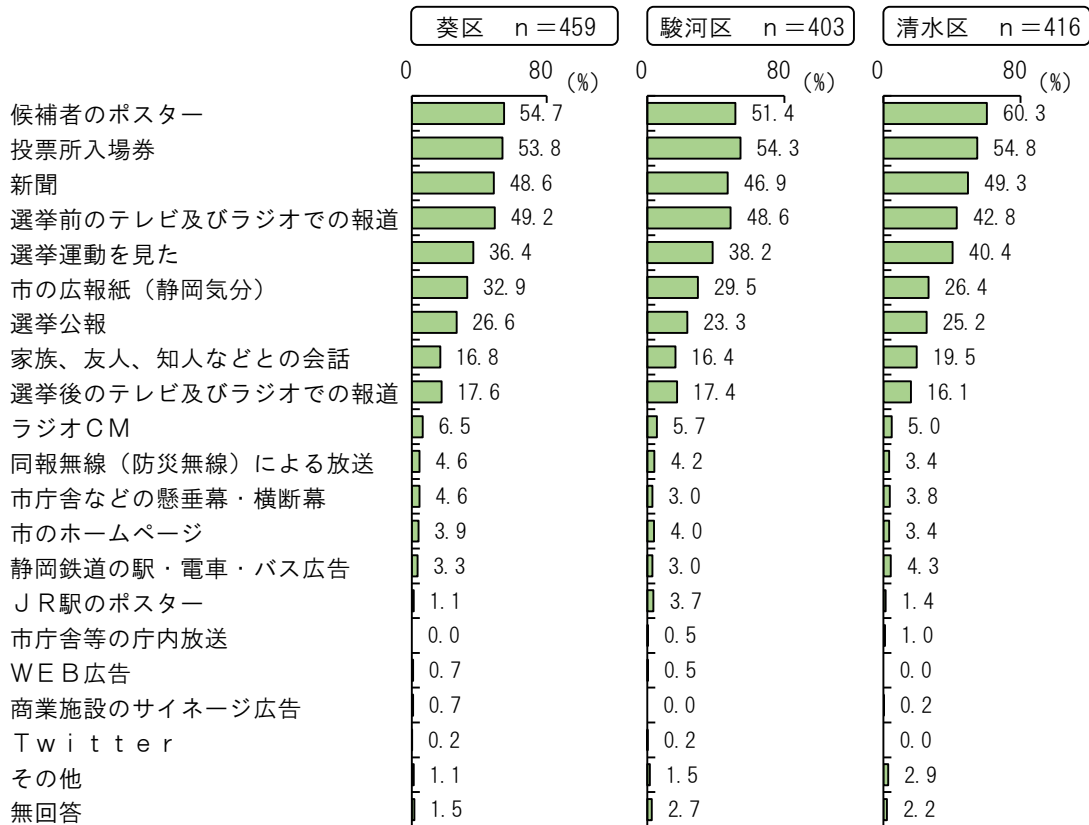
◆性別で見ると、男性において「新聞」が52.2%と多くなっている。女性においては「候補者のポスター」「選挙運動を見た」「家族、友人、知人などとの会話」が多くなっている。

【年代別】



◆年代別でみると、20代において「候補者のポスター」「投票所入場券」が少なくなっている。70歳以上においては「新聞」「市の広報紙（静岡気分）」「選挙公報」が多くなっている。

【行政区別】

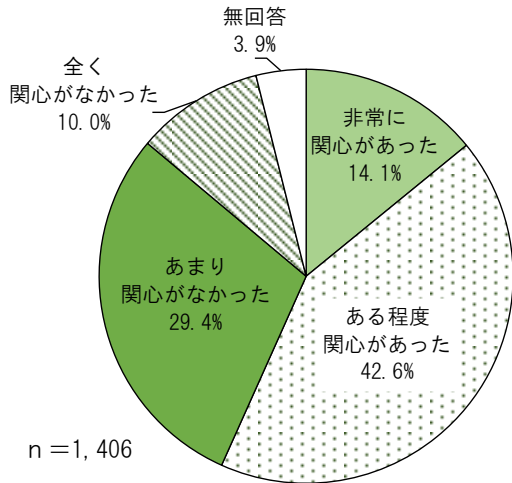


◆行政区別でみると、葵区・清水区において「候補者のポスター」が最も多くなっているが、駿河区においては「投票所入場券」が最も多くなっている。

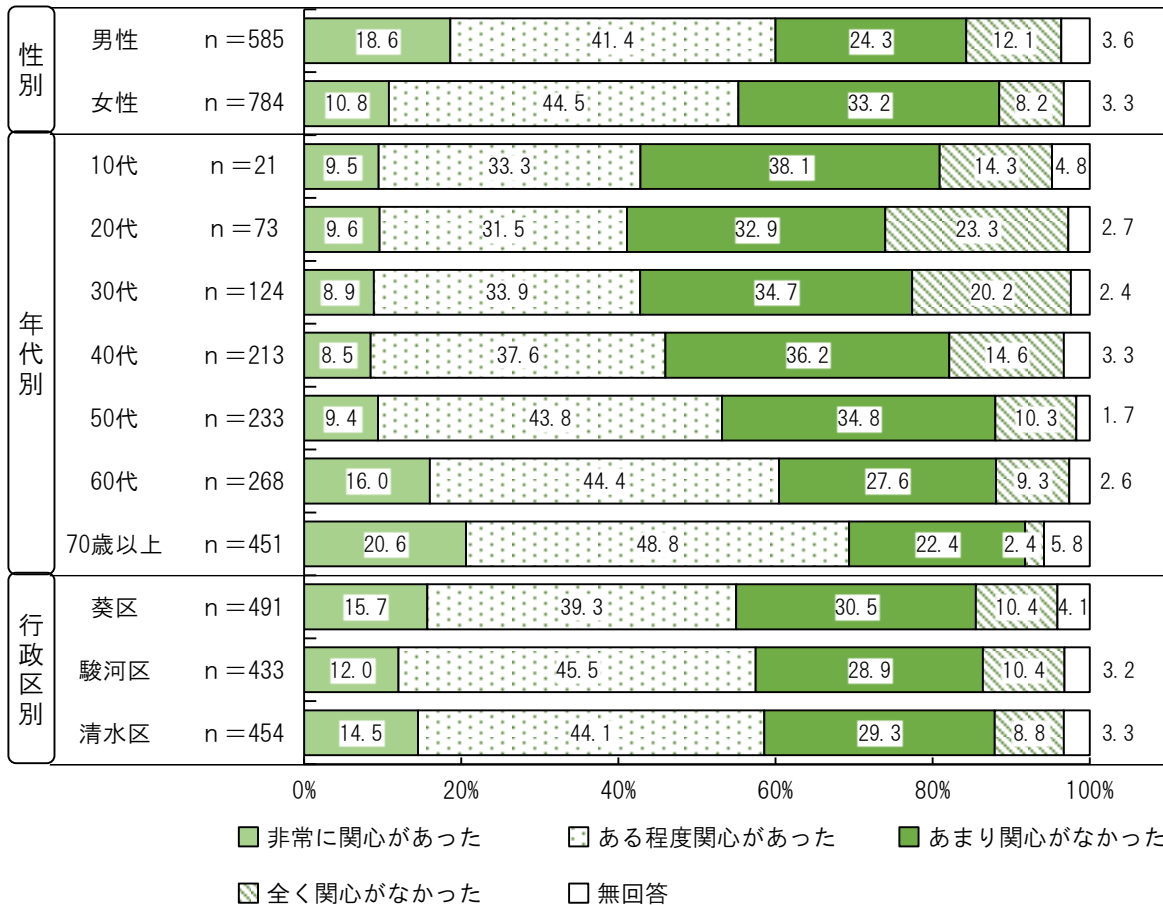
問2 あなたは、市議会議員選挙に関心がありましたか。(〇は1つ)

◎POINT◎

市議会議員選挙の関心度は、「ある程度関心があった」が42.6%と最も多く、次いで「あまり関心がなかった」が29.4%、「非常に関心があった」が14.1%などとなっている。また、『関心があった』（「非常に関心があった」+「ある程度関心があった」）は56.7%、『関心がなかった』（「あまり関心がなかった」+「全く関心がなかった」）は39.4%となる。



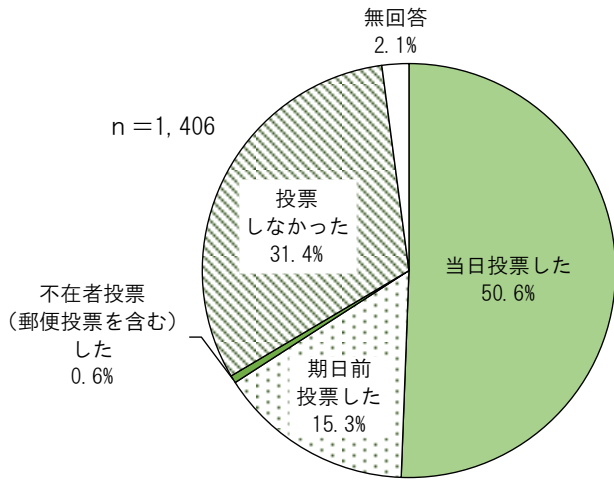
- ◆性別で見ると、男性において「非常に関心があった」が18.6%と多くなっている。女性においては「あまり関心がなかった」が33.2%と多くなっている。
- ◆年代別で見ると、70歳以上において『関心があった』が69.4%と多くなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。



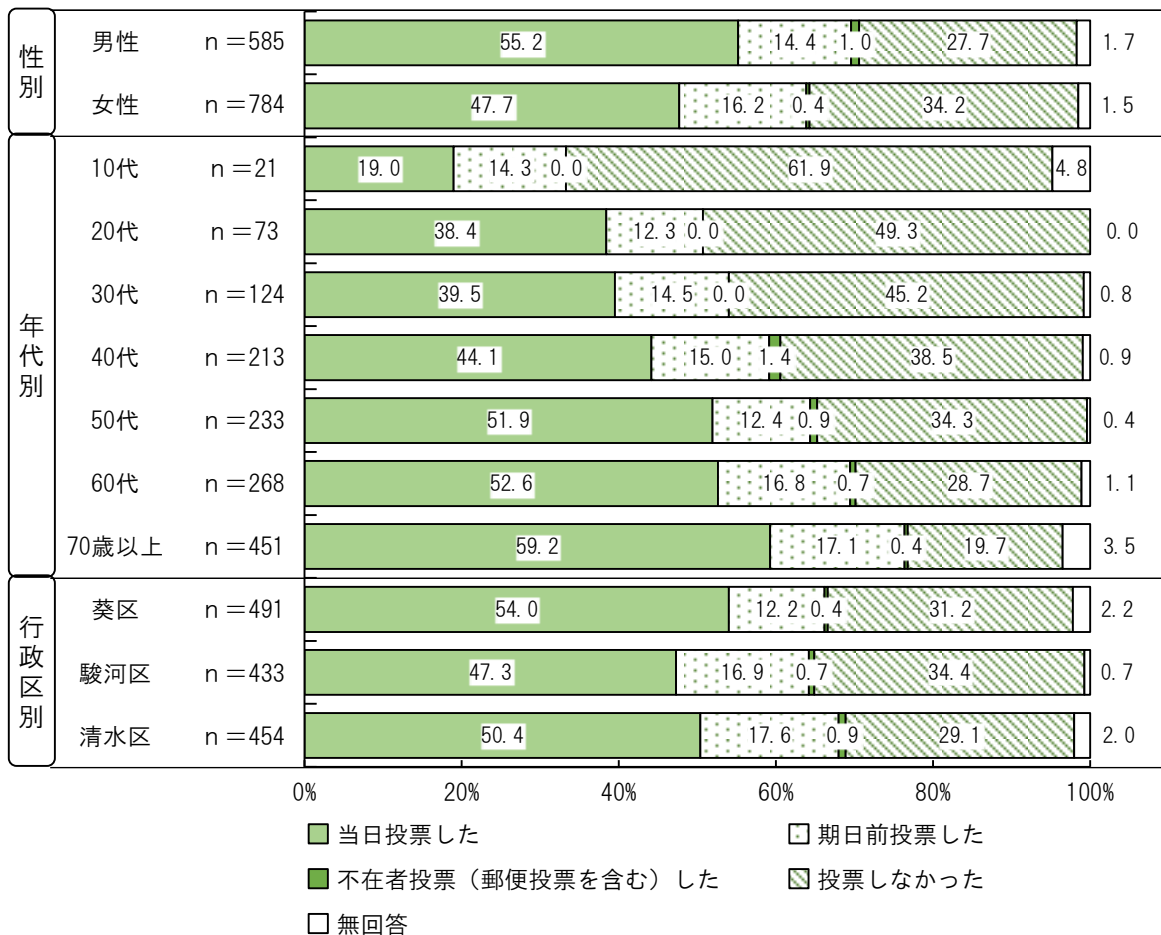
問3 あなたは、市議会議員選挙で投票をしましたか。(〇は1つ)

◎POINT◎

市議会議員選挙での投票の有無は、「当日投票した」が50.6%と最も多く、次いで「投票しなかった」が31.4%、「期日前投票した」が15.3%などとなっている。



- ◆性別で見ると、男性において「当日投票した」が55.2%と多くなっている。女性においては「投票しなかった」が34.2%と多くなっている。
- ◆年代別で見ると、10代において「投票しなかった」が61.9%と多くなっている。70歳以上においては「当日投票した」が59.2%と多くなっている。また、年代が上がるごとに「当日投票した」が多く、「投票しなかった」が少なくなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。



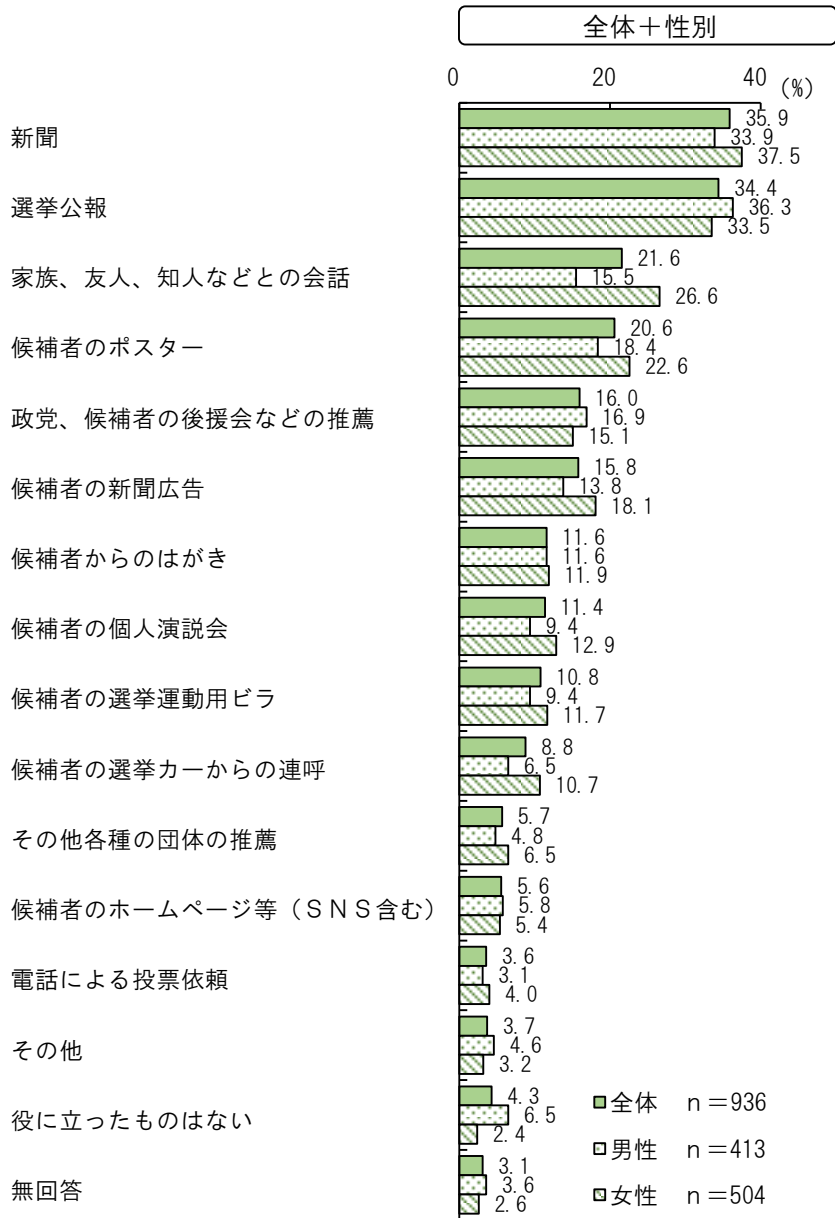


【問3で「当日投票した」「期日前投票した」「不在者投票（郵便投票を含む）した」と回答した方のみ】

問3-1 あなたが投票する候補者を決めるのに役立つものは何ですか。（〇はいくつでも）

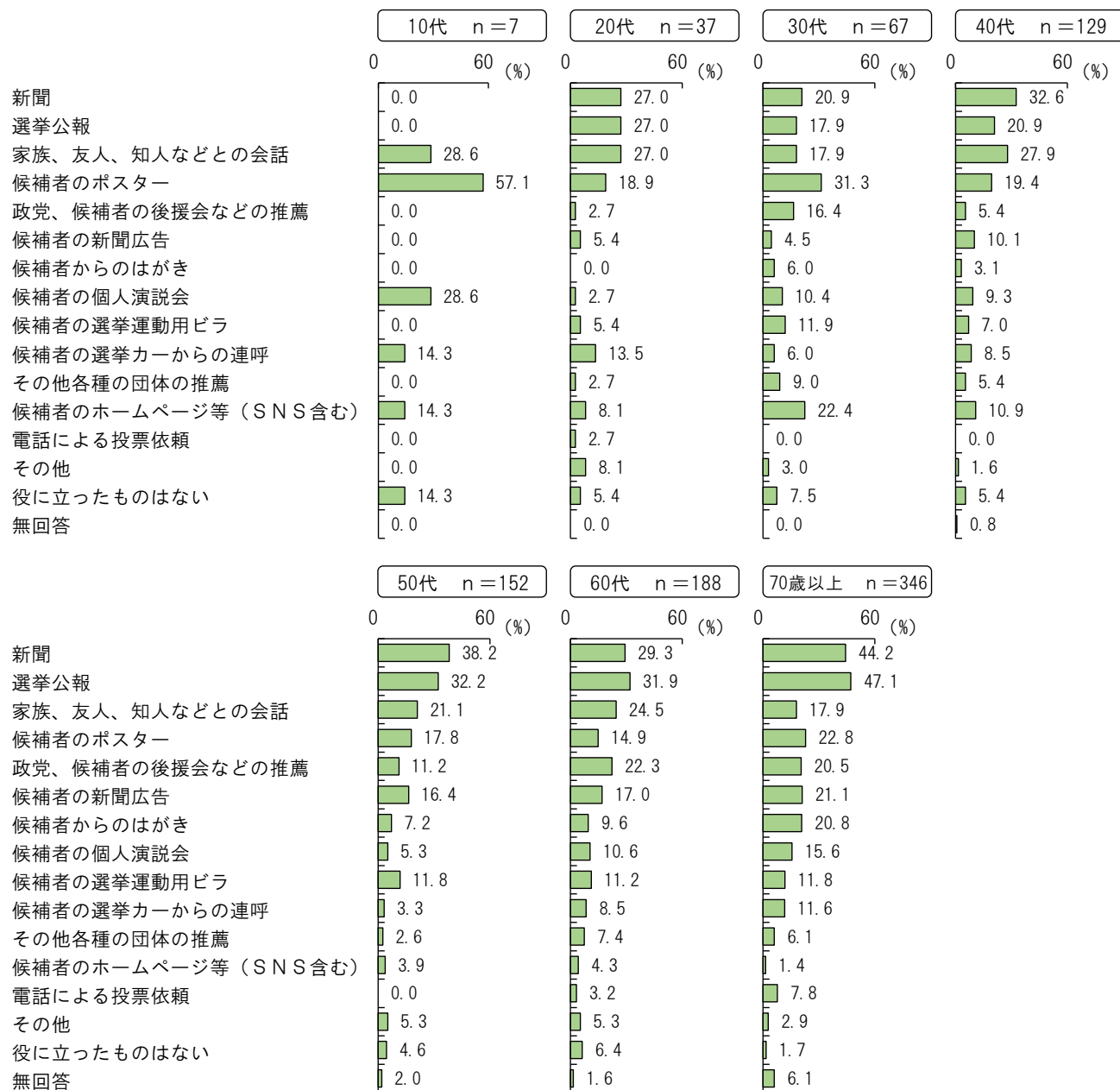
◎POINT◎

投票する候補者を決めるのに役立つものは、「新聞」が35.9%と最も多く、次いで「選挙公報」が34.4%、「家族、友人、知人などとの会話」が21.6%などとなっている。



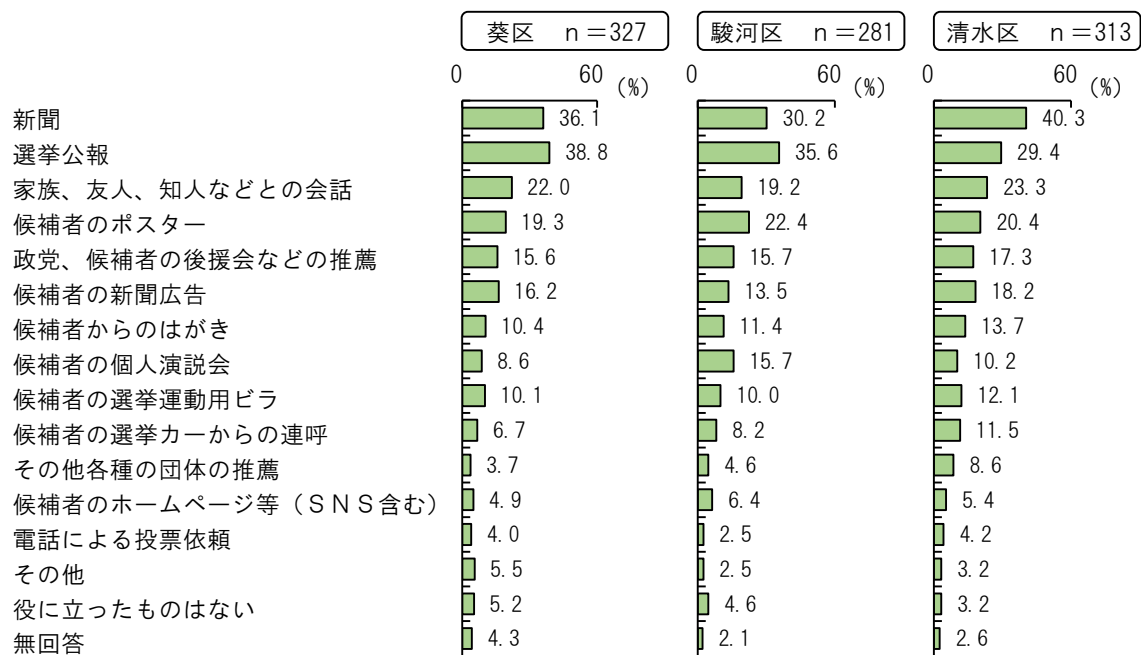
◆性別で見ると、女性において「家族、友人、知人などとの会話」が26.6%と多くなっている。

【年代別】



◆年代別でみると、30代において「候補者のポスター」「候補者のホームページ等（SNS含む）」が多く、「新聞」が20.9%と少なくなっている。70歳以上においては「新聞」「選挙公報」「候補者からのはがき」などが多くなっている。

【行政区別】



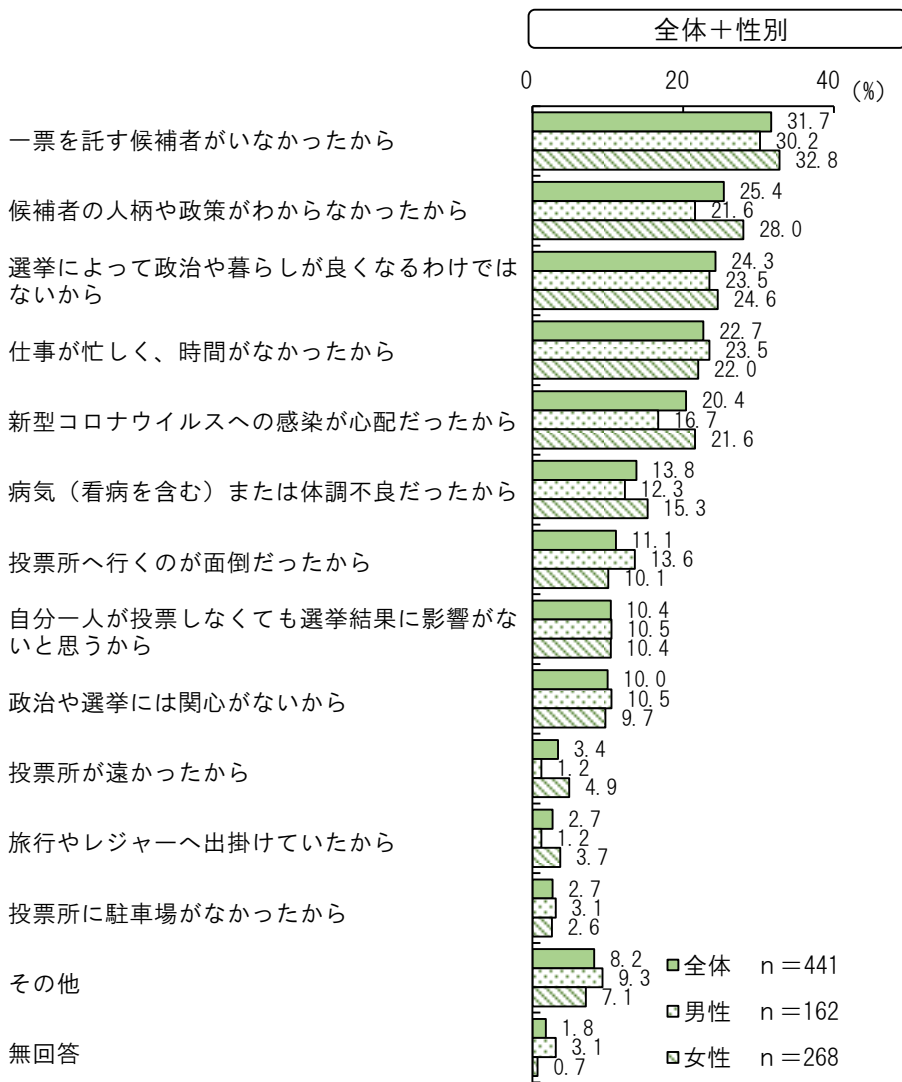
◆行政区別でみると、葵区・駿河区において「選挙公報」が最も多くなっているが、清水区においては「新聞」が最も多くなっている。

【問3で「投票しなかった」と回答した方のみ】

問3-2 あなたが投票しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

◎POINT◎

投票しなかった理由は、「一票を託す候補者がいなかったから」が31.7%と最も多く、次いで「候補者の人柄や政策がわからなかったから」が25.4%、「選挙によって政治や暮らしが良くなるわけではないから」が24.3%などとなっている。

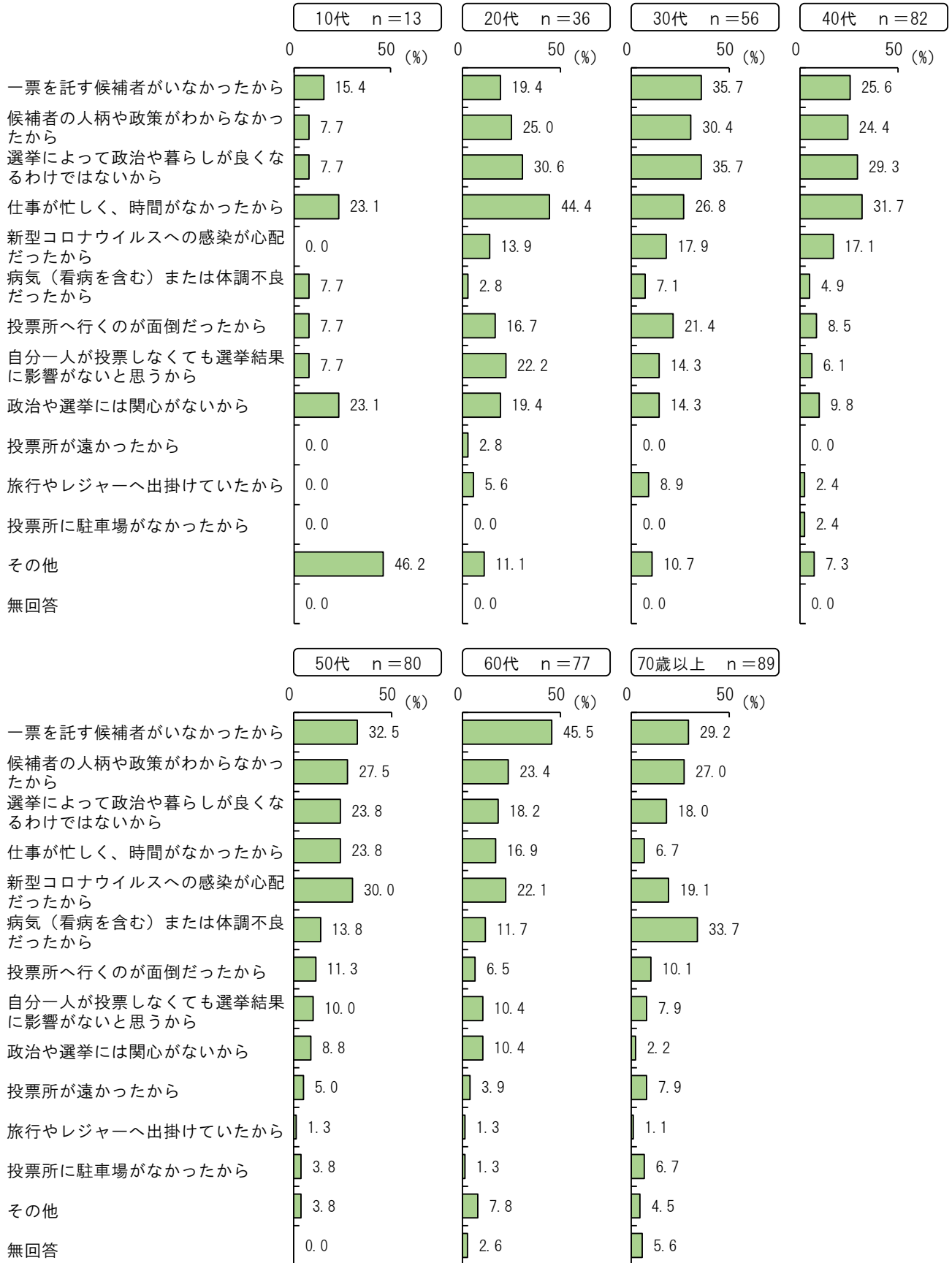


◆性別で見ると、男性・女性ともに「一票を託す候補者がいなかったから」が最も多くなっている。

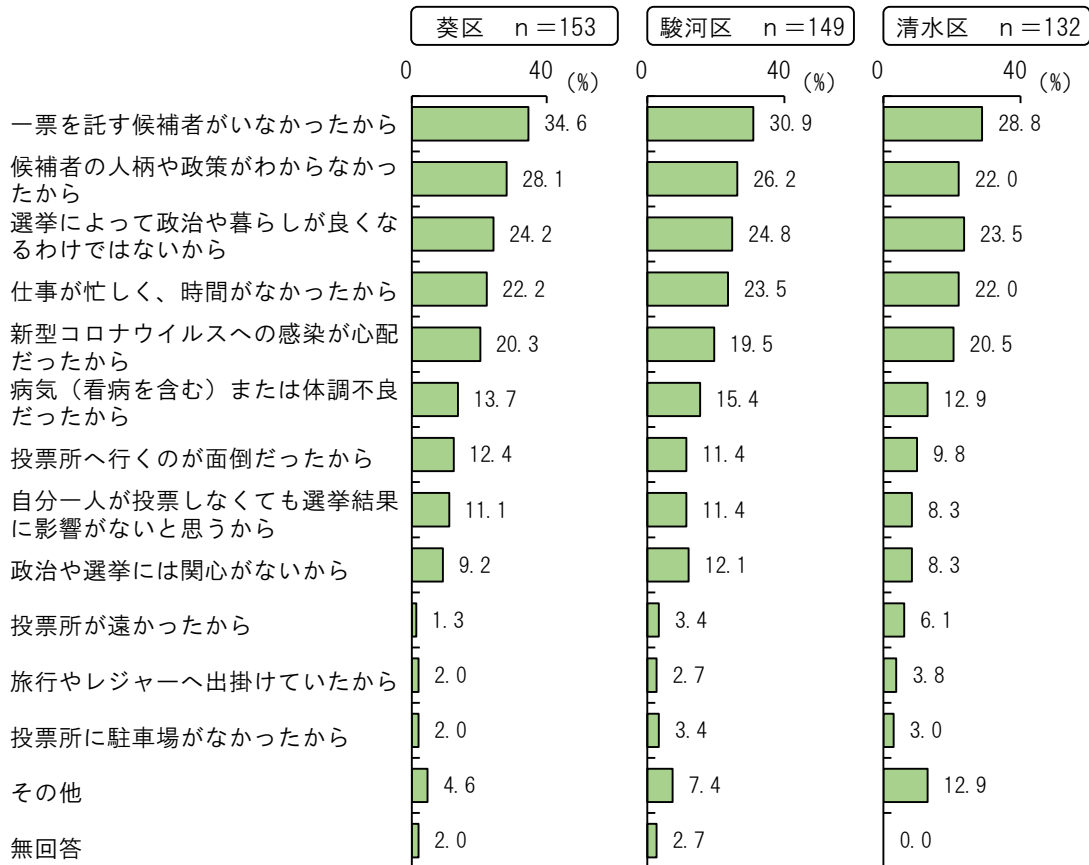
◆年代別で見ると、20代において「仕事が忙しく、時間がなかったから」「自分一人が投票しなくても選挙結果に影響がないと思うから」が多くなっている。30代においては「選挙によって政治や暮らしが良くなるわけではないから」が35.7%と多くなっている。50代においては「新型コロナウイルスへの感染が心配だったから」が30.0%と多くなっている。60代においては「一票を託す候補者がいなかったから」が45.5%と多くなっている。70歳以上においては「病気（看病を含む）または体調不良だったから」が33.7%と多く、「仕事が忙しく、時間がなかったから」「政治や選挙には関心がないから」が少なくなっている。

◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。

【年代別】



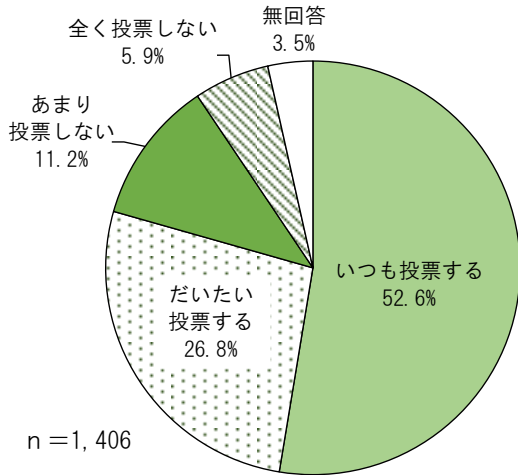
【行政区別】



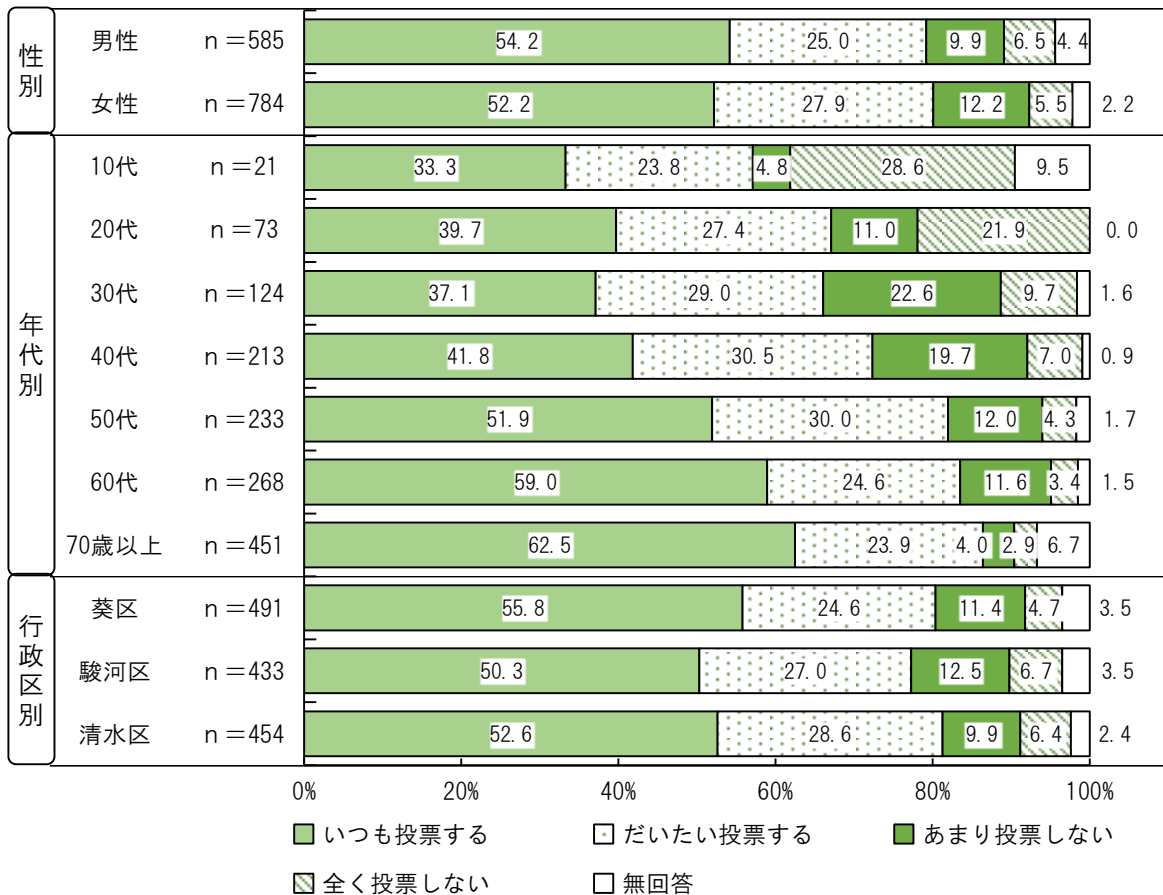
問4 あなたは、今回の静岡市議会議員選挙に限らず、普段行われる選挙で投票していますか。  
(○は1つ)

◎POINT◎

普段行われる選挙での投票の有無は、「いつも投票する」が52.6%と最も多く、次いで「だいたい投票する」が26.8%、「あまり投票しない」が11.2%などとなっている。また、『投票する』（「いつも投票する」+「だいたい投票する」）は79.4%、『投票しない』（「あまり投票しない」+「全く投票しない」）は17.1%となる。



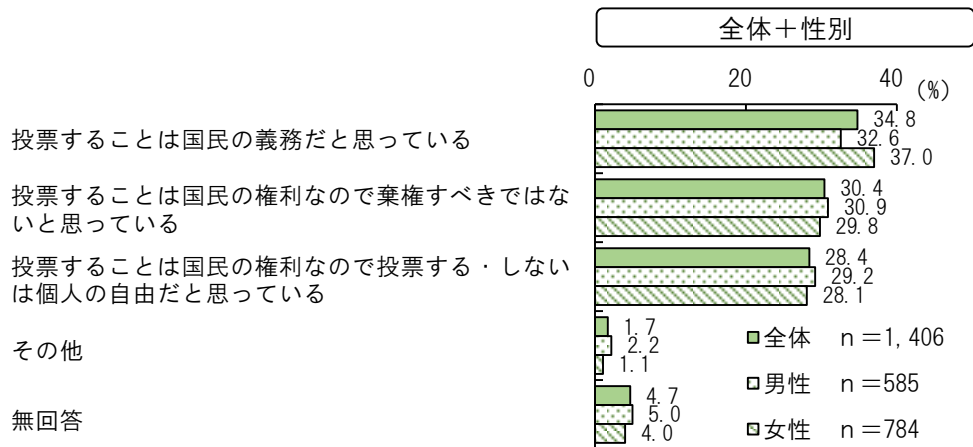
- ◆性別で見ると、大きな差異はみられない。
- ◆年代別で見ると、10代において「全く投票しない」が28.6%と多くなっている。また、『投票する』が57.1%と少なくなっている。
- ◆70歳以上においては『投票しない』が6.9%と少なくなっている。
- ◆年代が下がるごとに「全く投票しない」が多くなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。



問5 あなたは、選挙の投票について下記のどれに近い考えを持っていますか。(○は1つ)

◎POINT◎

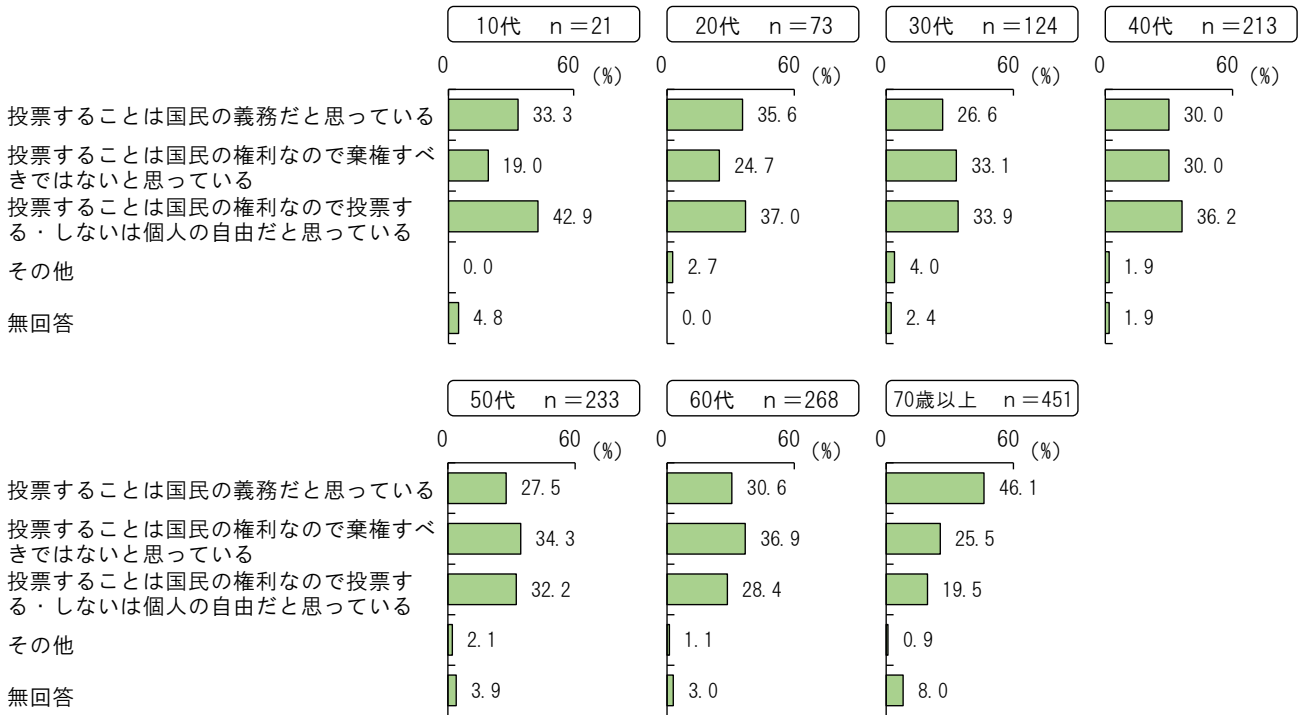
選挙の投票についての考えは、「投票することは国民の義務だと思っている」が34.8%と最も多く、次いで「投票することは国民の権利なので棄権すべきではないと思っている」が30.4%、「投票することは国民の権利なので投票する・しないは個人の自由だと思っている」が28.4%などとなっている。



◆性別で見ると、大きな差異はみられない。

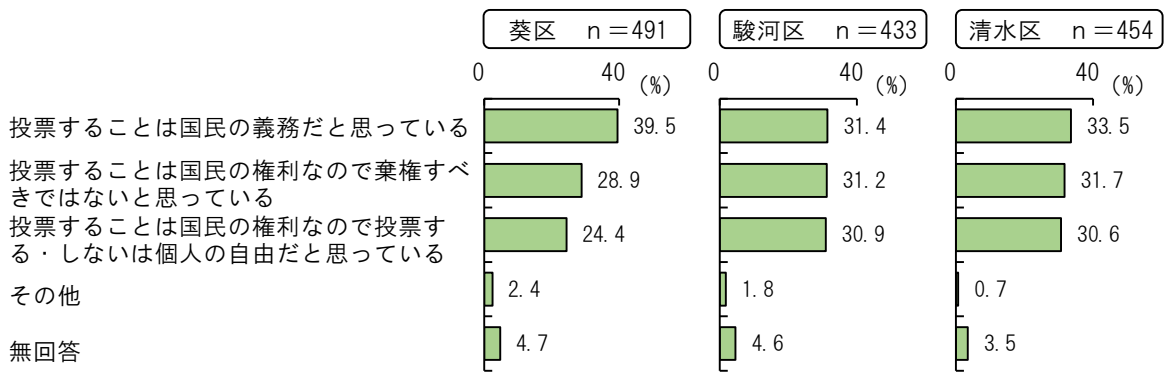


【年代別】



◆年代別でみると、10代において「投票することは国民の権利なので投票する・しないは個人の自由だと思っている」が42.9%と多くなっている。70歳以上においては「投票することは国民の義務だと思っている」が46.1%と多くなっている。また、40代以下においては「投票することは国民の権利なので投票する・しないは個人の自由だと思っている」が、50代・60代においては「投票することは国民の権利なので棄権すべきではないと思っている」が最も多くなっている。

【行政区別】

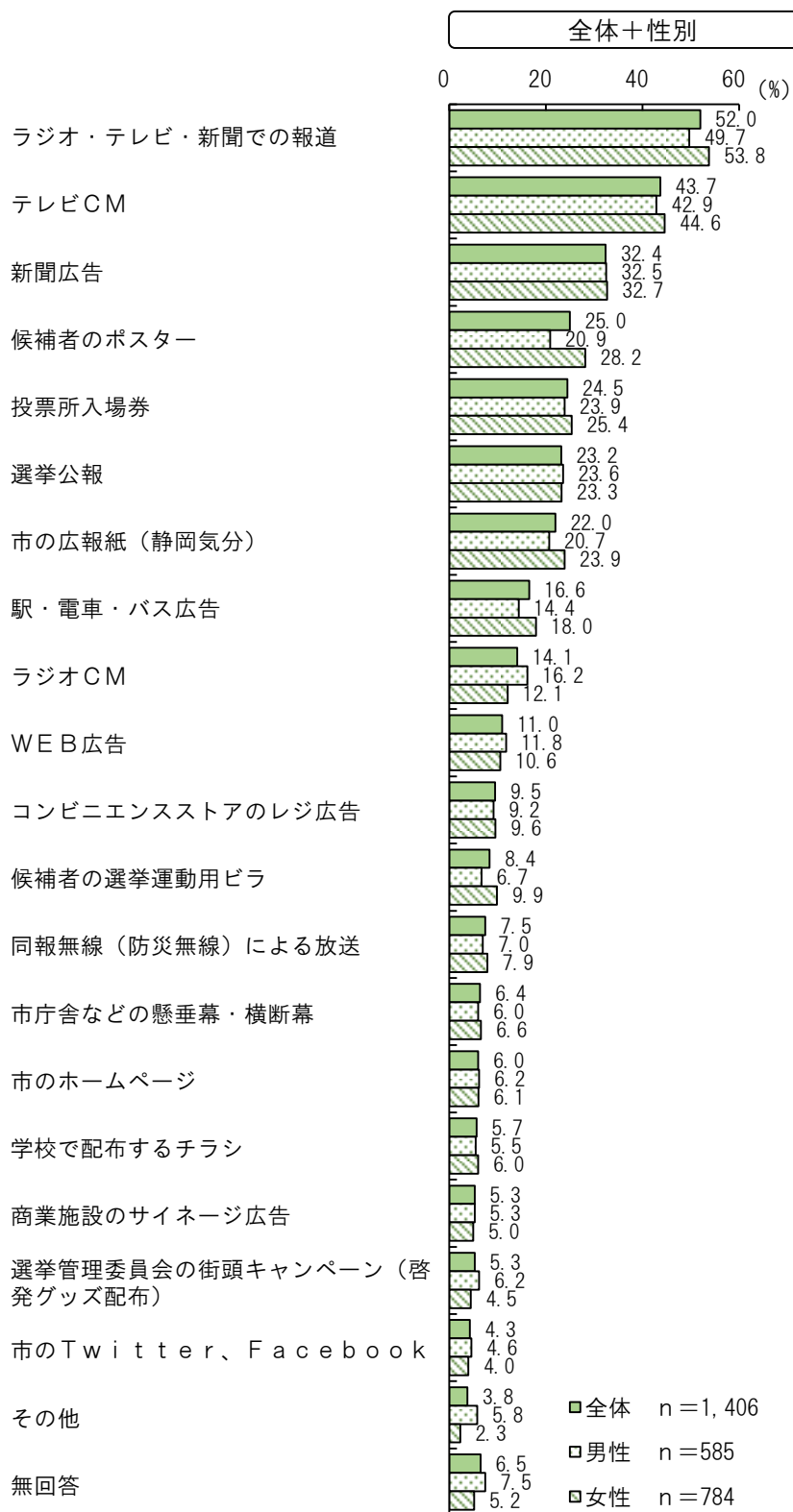


◆行政区別でみると、全ての区において「投票することは国民の義務だと思っている」が多く、「投票することは国民の権利なので投票する・しないは個人の自由だと思っている」が少なくなっている。

問6 投票参加を呼び掛ける方法として、効果的と思われるものは何ですか。(〇はいくつでも)

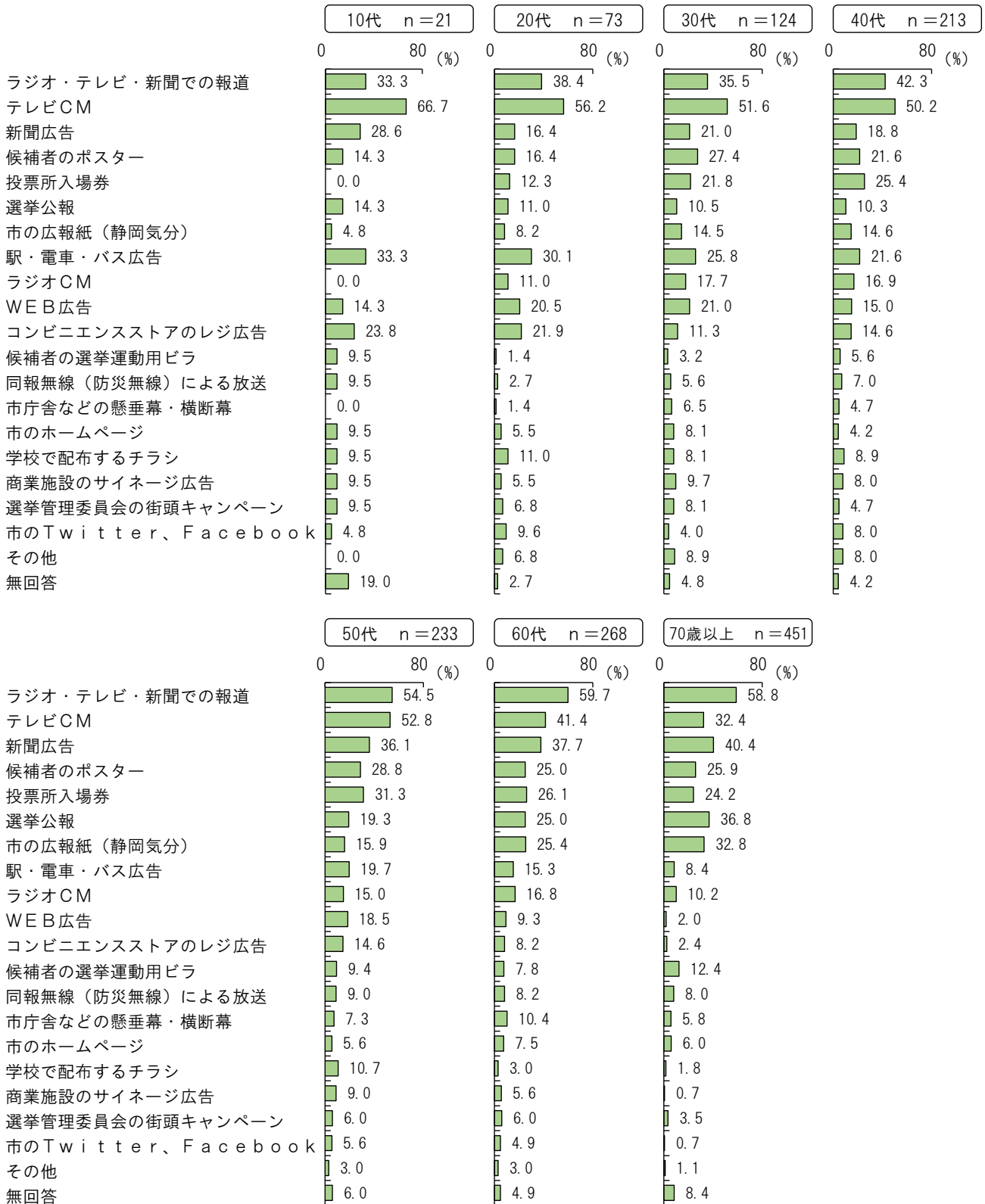
◎POINT◎

投票参加を呼び掛ける方法として、効果的と思われるものは、「ラジオ・テレビ・新聞での報道」が52.0%と最も多く、次いで「テレビCM」が43.7%、「新聞広告」が32.4%などとなっている。



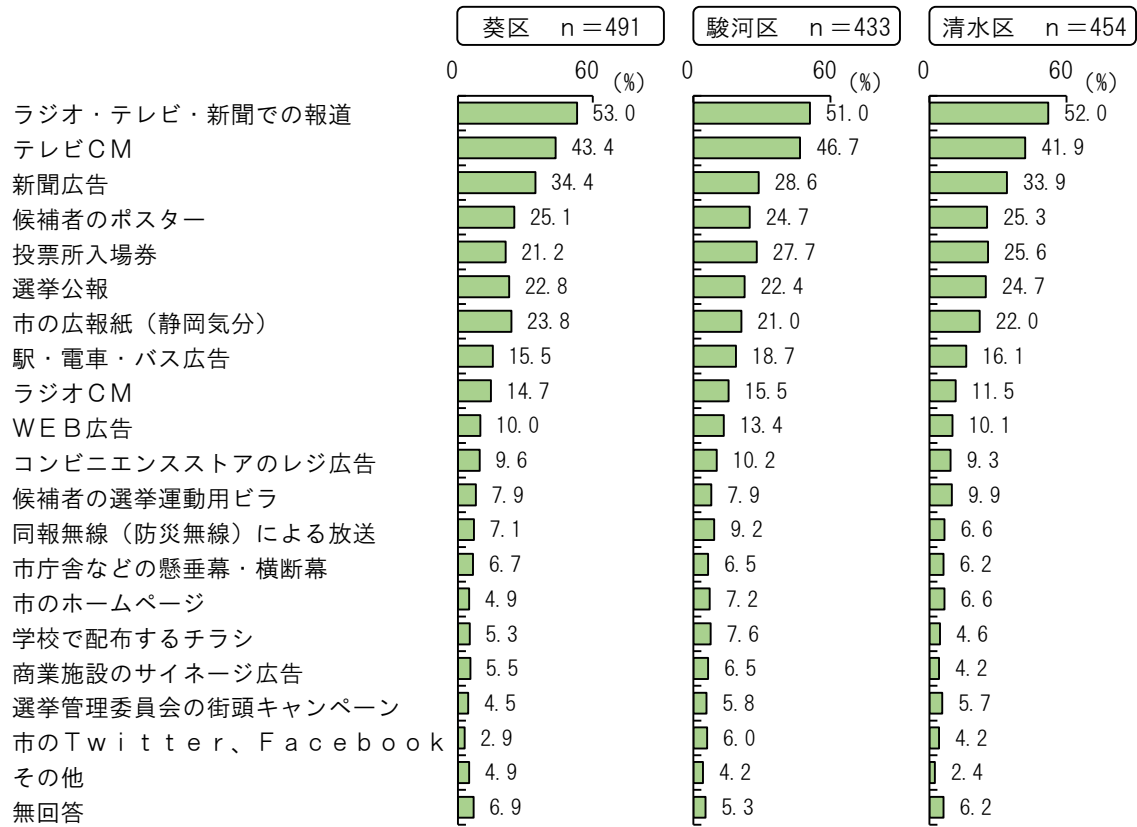
◆性別で見ると、女性において「候補者のポスター」が28.2%と多くなっている。

【年代別】



◆年代別でみると、10代において「テレビCM」が66.7%と多く、「投票所入場券」「ラジオCM」が少なくなっている。50代においては「投票所入場券」が31.3%と多くなっている。70歳以上においては「選挙公報」「市の広報紙（静岡気分）」が多く、「テレビCM」「駅・電車・バス広告」「WEB広告」などが少なくなっている。また、40代以下においては「テレビCM」が最も多くなっている。

【行政区別】

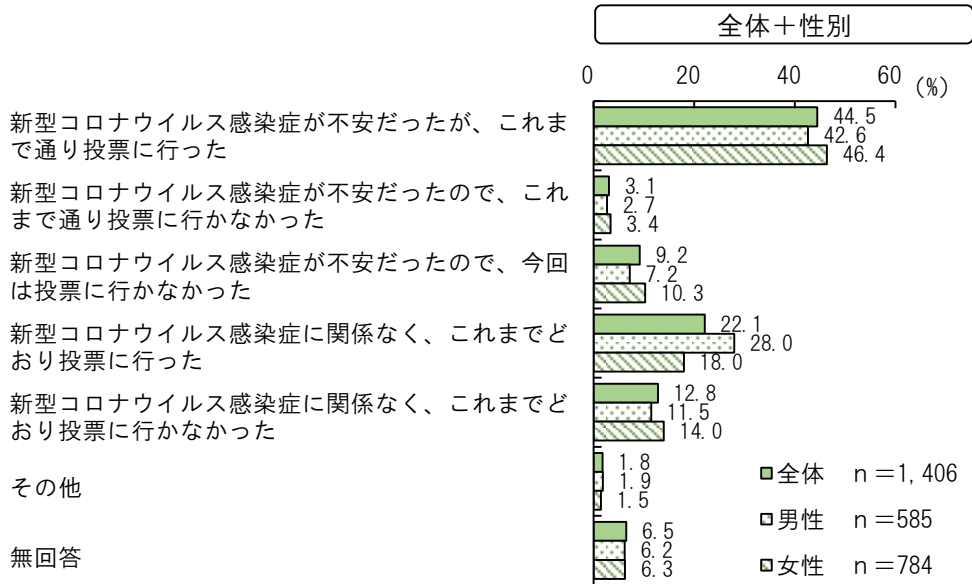


◆行政区別でみると、駿河区において「新聞広告」が28.6%と少なくなっている。

問7 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、あなたの選挙に対する行動は変わりましたか。  
(○は1つ)

◎POINT◎

新型コロナウイルス感染症の拡大による選挙行動の変化は、「新型コロナウイルス感染症が不安だったが、これまで通り投票に行った」が44.5%と最も多く、次いで「新型コロナウイルス感染症に関係なく、これまでどおり投票に行った」が22.1%、「新型コロナウイルス感染症に関係なく、これまでどおり投票に行かなかった」が12.8%などとなっている。



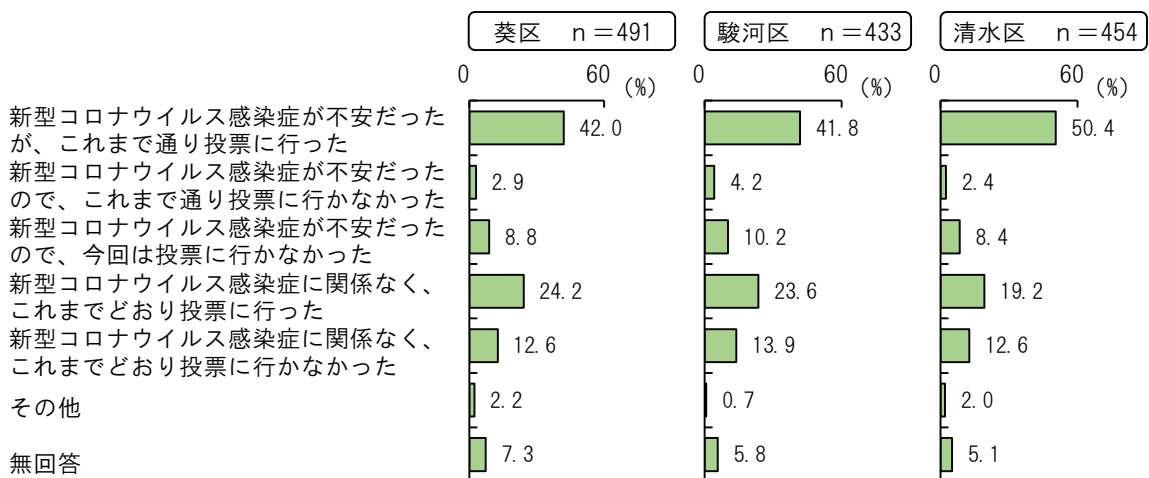
◆性別で見ると、男性において「新型コロナウイルス感染症に関係なく、これまでどおり投票に行った」が28.0%と多くなっている。

【年代別】



◆年代別で見ると、30代以上において「新型コロナウイルス感染症が不安だったが、これまで通り投票に行った」が最も多く、10代においては「新型コロナウイルス感染症に関係なく、これまでどおり投票に行かなかった」が最も多くなっている。

【行政区別】

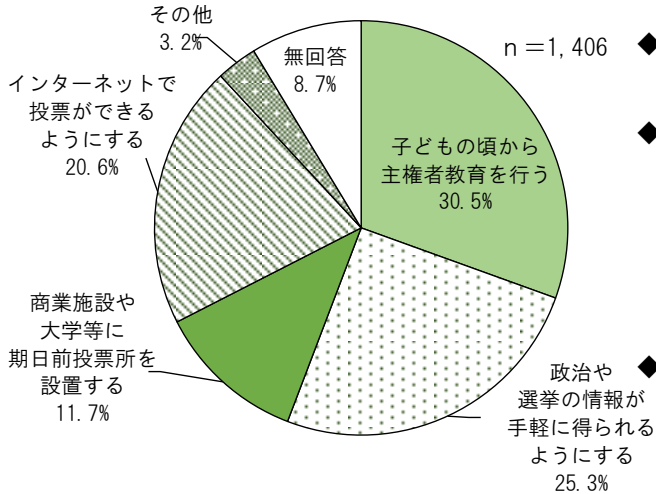


◆行政区別で見ると、全ての区において「新型コロナウイルス感染症が不安だったが、これまで通り投票に行った」が最も多く、次に「新型コロナウイルス感染症に関係なく、これまでどおり投票に行った」が多くなっている。

問8 投票率向上には、どのような対策が最も効果的だと思いますか。(〇は1つ)

◎POINT◎

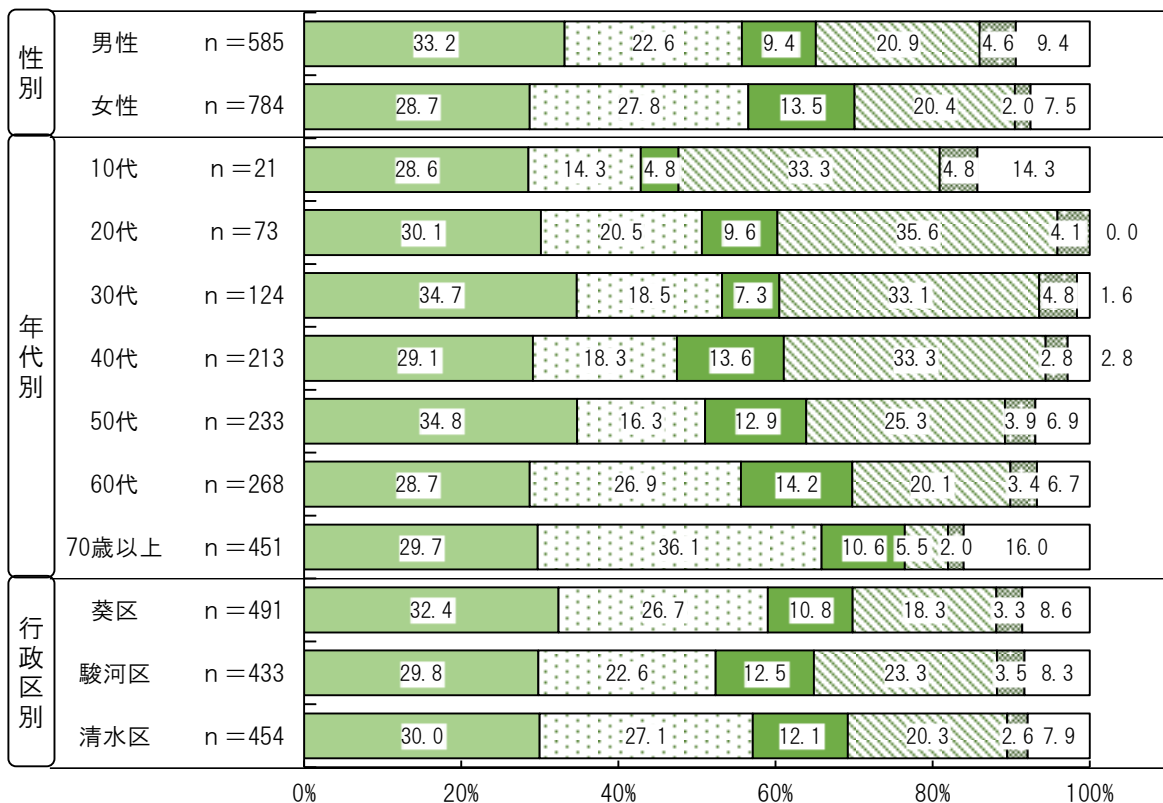
投票率向上に最も効果的だと思われる対策は、「子どもの頃から主権者教育を行う」が30.5%と最も多く、次いで「政治や選挙の情報が手軽に得られるようにする」が25.3%、「インターネットで投票ができるようにする」が20.6%などとなっている。



◆性別で見ると、女性において「政治や選挙の情報が手軽に得られるようにする」が27.8%と多くなっている。

◆年代別で見ると、70歳以上において「政治や選挙の情報が手軽に得られるようにする」が36.1%と多く、「インターネットで投票ができるようにする」が5.5%と少なくなっている。また、40代以下においては「インターネットで投票ができるようにする」が最も多くなっている。

◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。



- 子どもの頃から主権者教育を行う
- 政治や選挙の情報が手軽に得られるようにする
- 商業施設や大学等に期日前投票所を設置する
- インターネットで投票ができるようにする
- その他
- 無回答